

園長だより

No. 2

4 / 8

○ムヒカの言葉

世界で一番貧しい大統領ムヒカさんが来日している。昨日は大学で講演したという。そのなかの言葉。「人は物を買う時は、お金で買っていないのです。そのお金を貯めるための人生の裂いた時間で買っているのですよ。貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ。」

「とと姉ちゃん」新しいNHKの朝ドラ。この家族には家訓がある。

一、朝食は家族皆でとること

一、月に一度、家族皆でお出掛けすること

一、自分の服は、自分でたたむこと

その約束を父が破ってしまった。とと(父親)が結核で、家族でお花見に行けなくなった。そのととの願いを遂げてあげたかった長女は、家族や会社の人に頼んで、みんなで桜の花びらを紙で作ってもらった。桜の花びらが散った桜の木にその花びらをくくりつけた。それをととに見せてあげた。ととはとても喜んだ。ととはその三日後に亡くなった。

ととを喜ばせたいという「思い」は、ととに届いた。桜の花びらを作るのには、とても時間がかかったと思う。その時間は、「思い」の時間である。お金では変えない時間。思いが重なって、花が咲いた。人として大事な生き方がそこには隠されているように思う。

○スーピタ記念日

「園長先生、きてください。」「スーピタができました、見てください。」と年長の子どもたちが職員室に入ってきた。下駄箱を見に行ったら、下履きが「ピタッ」とそろっていた。「すごいですね」とほめた。すると「みなさん、たんぽぽさんのも『スーピタ』してあげてください。」と、りさ先生がいった。子どもたちは早速たんぽぽ組の下履きを揃えた。「今日はスーピタ記念日だね」といって、記念写真を撮った。